

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム スローライフ大谷

目標達成計画

作成日: 平成30年 3月 27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	(3)	運営推進会議に、自治会長と民生委員の出席が得られておらず、今後も難しい。	運営推進会議のメンバーが職員だけ、という状況はなくし、少しでも外部者を増やす。	法人内のデイサービスに協力を仰ぐ。「管理者に出席メンバーになってもらえないか」「年2回はデイサービスと合同で開催できないか」等、打診する。 12ヶ月
2	(4)	行政との接点が少ない。	市役所との接点を増やす。	市役所へ運営推進会議の案内をだす。集団指導にも事業所単独で出席する。 12ヶ月
3	(6)	家族の面会が少なく、現状事業所でも通信などの発行がない。	家族に事業所の取組みや利用者の普段の様子を把握してもらえるようにする。	運営推進会議のほか、クリスマス会・敬老会・誕生日会などの告知案内をおこなう。 12ヶ月
4	(9)	介護計画書の更新時にアセスメントの書面修正がおこなわれていない。	介護計画書の作成に係る適正化を図る。	介護計画書の更新時にアセスメントの書面修正をおこなう。 12ヶ月
5	(13)	防災に係る内容に足りない点がある。	事業所のできることを取組み、2回の内1回は消防署の指導を仰ぎ、評価測定をおこない、次につなげる。	夜間想定訓練と風水害の際の避難手順(→マニュアル作成)、備蓄の整備をおこなう。 12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。